

平成28年度 第3回 広島県立大崎海星高等学校活性化地域協議会 議事要旨

【日 時】 平成29年2月10日（金）14:30～16:00

【場 所】 広島県立大崎海星高等学校

【出席者】（敬称略，50音順）

出口 一伸，大林 秀則，川口 耕史，閑田 大祐，小林 弘晃，高田 幸典，取釜 宏行，文田 天吉岡 克昭（委員9名）三浦 喜成，藤本 寅肇（県教育委員会事務局2名）

【議事概要】

1 開 会

○校長挨拶 ○会長挨拶

2 説 明

- (1) 第2回協議内容について
- (2) 平成28年度の取組について
- (3) 平成29年度入試における県外等からの出願状況について

3 協 議

- (1) 活性化策について
- (2) 来年度に向けて

- 生徒募集については、一定の反応もあり県外からの出願も複数ある。次年度も継続するとともに、大阪を中心とする西日本への募集方法を工夫する必要がある。
 - 県外から入学する生徒の目的意識を十分に踏まえ、3年間でどのように育てていくかが問われる。
- 平成29年度の大崎上島町の当初予算（案）に以下のことを盛り込んでいる。
 - ☞ 姉妹校への留学補助
 - ☞ 学習交流センターの整備（寮として使用）
 - 運営を外部に委託，地域の避難所としての活用，広島商船の学生も入居可能に（空き部屋の状況により）
- 部活動の活性化が必要ではないか。和太鼓部・ソーラン部の活動は活性化しているようであるが，他の運動部等で生徒をしっかり鍛えて欲しい。
 - ・勉強と部活動で高校がしっかり鍛えることが必要で，それが広く認知されれば更なる生徒確保につながる。
 - ・すべてでアピールするのは難しいので，ある程度特化することが必要である。
- 本協議会は次年度も継続して開催する。

4 まとめ

5 閉 会

○会長挨拶

※本協議会は，公開としております。

